

いつもこのエンジンと情を交わしていたいから——

イタリアでは、クルマのことを“macchina=マッキナ”と呼ぶらしい。

マッキナとはマシーン、つまり機械のことだ。

だからかどうか知らないけれど、イタリアから生まれたエンジンには、

心の底から素晴らしいと感じられるエンジンが幾つもある。

例えばこのアルファ・ロメオのちょっと古い V6 ユニットなんて代表格だと思う。

こんなにも官能的な声で唄ってくれるエンジンを、他に知らない。

こんなにも有機的な感触を伝えてくるエンジンを、他に知らない。

こんなにも常に一緒にいたいと感じるエンジンを、他に知らない。

私はこのエンジンに惚れ込んでアルファ・ロメオに乗ってるようなものだ。

いつも快調でいて欲しいし、いつまでだって乗り続けたい。

そんな私にエンジン屋のオヤジさんが薦めてくれたのが、ゾイルだった。

金属と金属の摩耗を防ぐ強力な潤滑性能が特徴だからライフが伸びるよ、と。

エンジンをバラしてみると金属粉もないし、素晴らしく状態が綺麗なのだとか。

試してみたら、感触がさらに滑らかになって、唯一の欠点の燃費も明らかに違った。

エンジン内部が綺麗に潤滑してる証。以来、欠かせないアイテムになっている。

何が一番大切か——と考えたら、チョイスは他にないじゃないか。



SUPER ZOIL for 4cycle
200ml・¥6,800/320ml・¥9,800/450ml・¥12,890/4000ml・¥122,500



株式会社パパーコーポレーション
Tel 03-3589-8000 Fax 03-3589-8080
e-mail / info@superzoil.com

パンフレット、資料請求は——

www.superzoil.com